



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

平成28年12月12日(月)

国土交通省 関東地方整備局

港湾空港部

記者発表資料

「第1回岩手県荷主意見交換会」を開催しました

平成28年11月28日(月) 岩手県北上市において、国土交通省東北地方整備局・関東地方整備局の共催により、「第1回岩手県物流効率化に関する荷主等意見交換会」を開催しました。

本意見交換会は、岩手県の荷主企業等と国際コンテナ物流の課題や効率化等について、意見交換し、相互に今後の国際物流の効率化につなげることを目的として開催しました。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

室長 今野 頼夫 (この よりお)

専門官 田口 由美子 (たぐち ゆみこ)

電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

「第1回岩手県物流効率化に関する荷主等意見交換会」の開催結果

■開催日時 平成28年11月28日(月) 13:30～15:30

■開催場所 ホテルシティプラザ北上

■参加荷主企業

(荷主)SEIロジネット株式会社、新日鐵住金株式会社、三菱製紙株式会社

(港運)東北汽船港運株式会社、日鉄住金物流釜石株式会社

(陸運)白金運輸株式会社、日本通運株式会社 計7社 (50音順 敬称略)

■議事

(1)国際コンテナ戦略港湾政策の推進

(2)意見交換

■主な意見

(戦略港湾政策・フィーダー輸送)

・戦略港湾である京浜港への集貨にあたり、現況は陸送による輸送が多いことから、もっと地方港湾を活用した京浜港への集貨施策を検討してもらいたい。(港運)

・総コストに対し物流費が多くを占めている。県内港湾の国際フィーダーを利用することで、陸送距離を削減し、輸送コストを削減できた。(荷主)

・京浜港～地方港間の円滑な輸送のため、外航・内航によるシームレスな輸送体系を構築するとともに、利便性向上のため、フィーダー航路の多頻度化に期待している。(荷主)

・来年、釜石港にガントリークレーンが設置されることから、今後、取扱を増やしていきたい。取扱量の増加等により、県内港湾のサービス向上が図られることを期待している。(荷主)

(輸送効率化)

・震災以降、ドライバー不足からトレーラーを確保出来ない状況が続いている。(荷主)

・需要が高まっているが、ドライバー不足が続いている。若年ドライバーの増加や育成など、今後の課題と認識している。(陸運)

・県内港湾は輸出入のバランスが悪いなど、コンテナの確保に苦労する場合がある。利用コンテナの確保とともに、輸送コスト削減、ドレージ不足対策にも効果が期待できるコンテナマッチング・ラウンドユースに取り組みたい。(荷主)

・岩手県では、コンテナラウンドユースの取組を進めており、来年度からは東北地方整備局と連携することで、取組を加速していくこととしている。(県)

■会議状況

【荷主意見交換会の模様】

